

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

B 60 G 7/00  
3/20

識別記号

庁内整理番号

7270-3D  
8817-3D

⑭ 公開 平成1年(1989)7月27日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 キャンパ角調整機構

⑯ 実 願 昭63-8222

⑰ 出 願 昭63(1988)1月26日

⑱ 考 案 者 鈴 木 健 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社  
内

⑲ 出 願 人 日産自動車株式会社 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

⑳ 代 理 人 弁理士 森 哲 也 外2名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

基端が車体に上下揺動可能に連結され且つ先端が車体外側に向いたロアアームと、車輪を回転自在に支持するナックルと球結合するボールジョイントと、該ボールジョイントのソケット部と一体をなし且つ前記ロアアーム先端と上下に重ね合わされるボールジョイントアームと、重ね合わされた前記ロアアーム及び前記ボールジョイントアームのうち、上側のアームに下向きに突設されたボルトと、下側のアームに車幅方向に長く開設されて前記ボルトが貫通する長孔と、前記ボルトに下方から螺合するナットと、ナットの上側でボルトに外嵌され、外周が偏心している偏心座金と、下側のアーム下面に固定され、前記偏心座金に車幅方向両側において接するブラケットと、を備えた

ことを特徴とするキャンパ角調整機構。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例の構成を示す正面図、第2図は第1図の要部を拡大した断面図、第3図は偏心座金の一例を示した図であり、同図aは平面図、bは正面図、cは底面図である。第4図はブラケットと偏心座金との位置関係を示した平面図である。

1…車輪、3…ナックル、4…ボールジョイント、4a…ソケット部、4b…ボールジョイントアーム、5…ロアアーム、5a…ロアアーム先端、6b、7b…長孔、8a、9a…ボルト、8b、9b…ナット、10…ブラケット、11…偏心座金。

第 2 図

